

耳

栓

泳ぐよりもよく、片方の耳栓が
外れていたのに気が付いた。
水底を凝視しながら何度も探す
と広げてゆく。
今度は探す領域
やほん小さな

三角錐の耳栓は出でこない。
あきらめてアーリング上り
とき、係員の女性若いに青い
耳栓が手が、手に出できた。家
付に渡しておいたくださいと
言ひ残した。
愛用品を失うと悲しい。
ヤワーを浴びて出ると、
付の顔見知りの老嬢に耳
栓を

失くしたのです。——と、
と、それはもう届いた。深
く礼を下さる帰った。
本来自分のままで
だけぢに、終日気分が良か
た。丁度

令和五年二月二日記